

令和六年特別展

小坂奇石展

東洋芸術の根幹

線と余白の美

石潭 心耳を洗う（一九八四年八十三歳）

石潭 心耳を洗う

小坂奇石展



11月23日（土）～12月8日（日）月曜日休館

開館時間 午前10時～午後4時

奉賛料 五百円

主催 法樂寺・リーヴスギャラリー 小坂奇石記念館

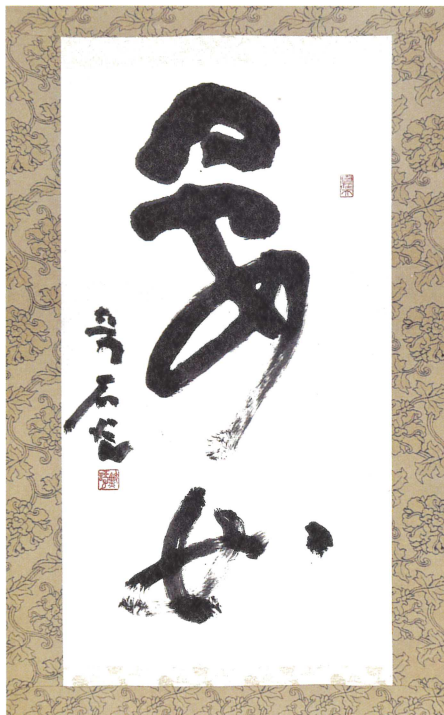




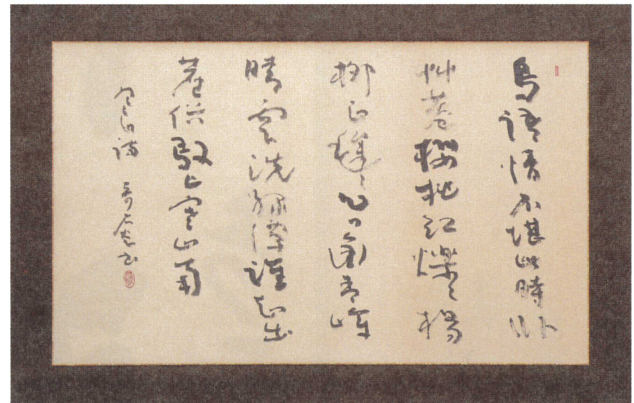
小坂奇石（一九〇一〜一九九一）は、本名を光太郎といい、徳島県海部郡由岐町（現美波町）に生まれました。十六歳より黒木拝石氏に師事し、「奇石体」「奇石流」と呼ばれる独自の躍動感みなぎる書体を確立。一九八一年八十歳の時、書家として初めての日本芸術院賞恩賜賞を受賞した昭和を代表する書家です。

当館では小坂奇石の作品、条幅や拓本、折帖、陶器等、約四百点を幅広く収蔵し、毎年十一月下旬頃より展覧会を開催。今年で二十八回目を迎えます。

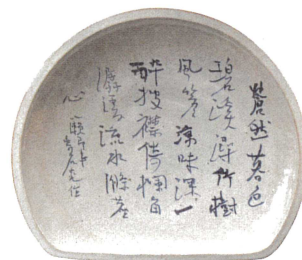
今なお色褪せず、尽きることのない魅力をはなつ奇石の書をぜひご覧ください。



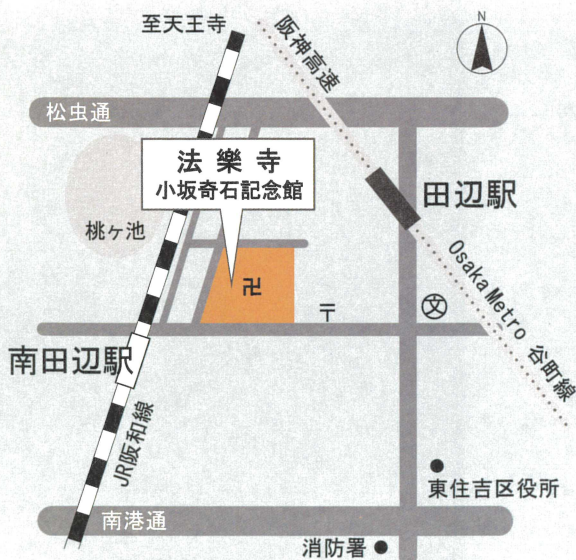
「晏如」88歳



「寒山詩」88歳



赤膚焼作品



【アクセス】

JR 阪和線 南田辺駅下車 徒歩5分

Osaka Metro 谷町線 田辺駅下車 徒歩7分



法樂寺ホームページ

【お問い合わせ】

リーヴスギャラリー小坂奇石記念館

大阪市東住吉区山坂 1-18-30 法樂寺内

TEL 06-6626-2805



インスタグラム